

<本日の議論の進め方>

2月25日の懇談会では論点を設定せずに各委員から意見を頂戴し、前回(7月21日)の懇談会では、「①日常的な療養支援」についてを論点として課題抽出を実施(資料3-1)。

2月25日の意見においてもいくつかの課題が出ていたことから、本日は、2月25日の懇談会での意見も踏まえ、課題抽出についての論点を以下に設定し、それに沿って「②急変時の対応」、「③退院支援」、「④看取り」についての課題抽出を行う。

なお、「①日常的な療養支援」についても前回意見以外について議論。

【(注)課題抽出における論点】

基本的に7月21日に出た課題(資料3-1)以外について記載しているが、一部は議論を深めるために記載している。

★は、2月25日に出た意見。

「①日常的な療養支援」課題抽出における論点

<医療提供体制の量的質的整備>

○訪問看護の質の向上のための、研修の参加や事業所間での相談やつながりについての課題。

<レスパイトケアの必要(家族の支援)>

○特養や老健のショートステイに関する課題。ショート有空床の現状や、医療的ケアのニーズが高い患者に対する受入状況はどうか。老健ショートはどの程度の医療的ケアまで対応可能か。

「②急変時の対応」 課題抽出における論点

＜24時間・365日の医療供給体制(緊急往診体制等)＞

- 訪問看護の事業所規模による、新規患者獲得やサービス提供上の苦慮(休日対応や24時間体制等)についての課題。また、サービス提供における事業所間の協力や連携の実態は。
- 訪問看護の指示書発行主治医が病院の医師の場合の急変時の対応について、課題はないか。

＜バックベットの確保の必要性＞

※在宅医療に係る機関側の課題

- 入院要請時、病院の窓口が分からない、何件も探す必要がある等の在宅医の負担等について。
- 入院要請の基準にばらつきはないか(軽症ケースの入院依頼はないか)。★
- 入院医療機関までの搬送についての課題はないか。

※入院医療機関側の課題

- タイミングよく空床を提供できているか。患者の状態に応じた空床提供についての課題。
- 入院患者受入の際に、患者の詳細な情報が不明な場合は、受けることへの不安があるのではないか。必要な情報とは何か、事前の情報共有(登録)の必要性やその実現可能性は。
- 認知症高齢者等の受入の現状と課題について。

＜施設入所者の急変時の対応＞

- 施設入所者の夜間等、看護師不在時の急変時の対応について。入院の必要性についての医療職の判断の有無や入院要請の基準についての課題。

「③退院支援」課題抽出における論点（1）

<連携>

入院早期から退院に向けた対応（居宅や介護状況等の状況把握や介護保険・障がい者手帳等の手続き含む）が必要だと思われるが、

- 退院支援についての病棟側の働きかけの現状や退院支援担当部署との連携、また両部署のマンパワー等における課題について。
- 在宅医療に係る機関との入院早期あるいは退院時における情報共有や連携等についての課題。★
- 退院時カンファレンスの開催や参加の状況（入院医療機関及び在宅医療に係る機関の両者）についての課題。
- 診療情報提供書等の作成の負担や、医師同士あるいは在宅医療に係る機関との連携における課題（ICTの活用の必要性等含む）★

<入院医療機関の職員の意識>

- 入院医療機関の職員、特に病棟職員等における在宅についてのイメージや意識についての課題。★
- 患者の状況に応じた退院支援の必要性（カンファレンス設定等含む）の判断についてのばらつき。

「③退院支援」 課題抽出における論点（2）

＜在宅医療に係る資源の把握＞

- 在宅医につなげる際、訪問診療等が可能な在宅医の情報（医療的処置に対応可能かどうか等含め）の把握や情報の更新についての課題。★

＜市民の意識＞

- 患者が持つ退院のイメージと地域完結型医療の概念のかい離について。
- かかりつけ医が従前からいない患者の存在。★

＜転院が必要なケースへの対応＞

- 転院が必要な患者の転院先の受入状況についての課題。

「④看取り」課題抽出における論点

＜看取りの対応可能な医療供給体制の整備＞

- 看取りまで対応可能な在宅医や訪問看護事業所等の件数や体制整備についての課題。
- 在宅医や訪問看護等において、看取りまで対応可能な医療管理技術等における課題。
- 入院医療機関及び在宅医療に係る機関自体の、看取りの医療についての概念やその実際についての理解度について。
- 医療・介護の総合的な連携全般(多職種連携含む)についての課題。

＜市民の意識＞

- 在宅医療という選択肢があることの理解や、自分や家族の最期の迎え方について考えることができるような働きかけの必要性等について。★

＜施設入所者の看取り＞

- 施設入所者の看取りの現状や課題について。